



ほけんだより



第74号

平成19年1月

子育て施設課

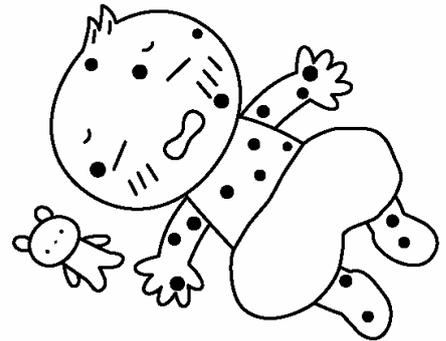
電話 0823-25-3144

【水ぼうそう（水痘）】

水ぼうそうは、年中ありますが、冬から春に多く発症します。8歳以下に多くみられますが発症のピークは1歳～2歳です。

水ぼうそうとは

- ・ 水痘ウイルスによる感染症です。
- ・ 潜伏期間は10日～21日。
- ・ 感染力は強く、空気感染・飛まつ感染・接触感染で感染します。
- ・ 全ての発疹がかさぶたになるまでは出席停止です。
- ・ 水をもった赤い発疹が、全身にでます（頭・口の中・陰部にも）。発疹の特徴は、ある時期に4つのステージの発疹（①紅斑…赤い小さな発疹、②丘疹…赤い盛り上がった発疹、③水疱、④かさぶた…水泡がつぶれかさぶたを形成）が同時に観察されること。
- ・ 発熱はない場合や38℃前後の発熱が2～3日続くこともあります。
- ・ 発疹出現1～2日前から水泡がかさぶたになるまで感染力があります。



感染

0日

潜伏期

15日頃

紅斑

丘疹

水疱

かさぶた

25日頃

混在

合併症は

細菌の二次感染（肺炎や水痘部位をかきむしることによる皮膚症状の悪化）、水痘脳炎（1/33,000人）、急性小脳失調症（1/4,000人）があります。

治療は

アシクロビルという飲み薬が用いられます。服用すると重症度が軽くなります。発症後早く服用するほど効果がよいようです。2～3日以上経過してからの服用では効果は期待できないようです。皮膚症状を軽くするために、抗ヒスタミン剤、抗ウイルス薬等の外用薬が処方されます。

家庭で気をつけること

- ① かゆいけど : かきむしって化膿することもあるので爪は短くしておきましょう。赤ちゃんなら手袋をするのもいいでしょう。
- ② お風呂 : お風呂でさっと汗を流しておくほうが、かゆみも少なく、化膿することも少ないものです。
- ③ 食べ物 : 口の中にもできるため、食事は刺激が少なく（塩辛くないものすっぱくないもの）消化のよいものをとるようにしてあげましょう。特に食べてはいけないものはありません。

予防は

予防接種があります。ワクチンの予防効果は、約70～90%程度です。ですから10～30%は、注射をしていても水痘にかかる可能性があります。軽症です。ワクチンを接種しておくことで、再び感染を受けた場合には免疫効果を長く持続させてくれます。

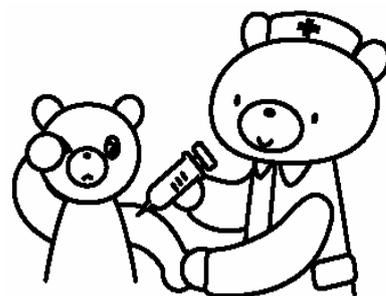
健康であれば何ともない病気でも、体調の悪い子どもには危険な場合があります。

予防接種は子どもひとりの健康を守るだけでなく、集団生活をしているほかの子どもの健康を守る目的もあります。

水痘患者が発生した場合、患者と接触してから72時間以内にワクチンを接種すれば、発症を阻止することが可能です。

予防接種については、主治医とよく相談しましょう。

水痘ワクチンは、任意の予防接種で有料です。



水痘と帯状疱疹

- ・ 両方とも原因となるウイルスは同じです。
- ・ このウイルスに初めて感染して発病したときは、水痘です。
- ・ 水痘にかかった後、このウイルスは神経節に潜んでいます。そして免疫が低下したときに再び活性化して帯状疱疹を引き起こします。

